

別記様式2

副専攻プログラム説明書

開設学部（学科）名〔教育学部(第五類)〕

プログラムの名称	(和文) 教育学副専攻プログラム
	(英文) Educational studies
1. プログラムの紹介と概要 本プログラムは、教育諸科学の体系的知識の習得と理解をめざす。教育は、人間と社会のさまざまな要因が複雑に絡み合った事象である。したがって本プログラムは、学生が教育に関するさまざまな理論や思想、事象、課題について、哲学的・歴史的・社会的・国際比較的視野に立って学習し研究するとともに、教育方法・技術や教育課程、学校経営・教育行財政、社会教育・生涯学習をめぐる具体的問題群についての理論的検討を行いうるよう構成されている。	
2. プログラムの到達目標 教育哲学、日本東洋教育史、西洋教育史、教育社会学、教育方法学、社会教育学、教育行政学、比較教育学、教育経営学、幼児教育学、高等教育学などの教育関連諸科学の基礎を習得している。	
3. プログラムの履修時期・要件 (1) 履修開始時期とプログラム登録時期 プログラム開始（選択）時期は、2年次である。 なお、履修開始後の登録も可能とする。 (2) プログラム選択のための既修得要件(履修科目名及び単位数等) 既修得要件については設定しない。 (3) 履修上の注意点 特になし	
4. 教育内容・構造 本プログラムは、教育諸科学の知識を体系的に習得・理解できるよう専門基礎科目（講義）から構成されている。	
5. 授業科目及び授業内容 専門基礎科目（教育哲学、日本東洋教育史、西洋教育史、教育社会学、教育方法学、社会教育学、教育行政学、比較教育学、教育経営学、幼児教育学、高等教育概論） ※授業内容は、各年度に公開されるシラバスを参照すること。	
6. 評価 (1) 試験・成績評価 各授業科目における試験・成績評価基準に基づく。	

(2) 修了判定の基準

別添の履修表に示す授業科目のうち、18単位以上を修得すること。

7. プログラムの責任体制

本副専攻プログラムは、主として教育学講座のスタッフにより遂行される。その遂行上の責任は、プログラム責任者（教育学講座の主任）にある。計画・実施・評価検討・対処は、本副専攻プログラム教員会が行う。

8. プログラムの受入上限数

制限なし

9. プログラムの既修得単位等の認定単位数等

(1) 他大学等における既修得単位等の認定単位数等

既修得単位の認定は行なわない。

(2) 広島大学における既修得単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)の認定単位数等

18単位

【副専攻プログラム履修に関する注意事項】

○主専攻プログラムの授業時間割の関係で、登録した副専攻プログラムの授業科目履修が制限されることがある。

○副専攻プログラムで開設されている授業科目も、本学共通の平均評価点(GPA)の計算対象に含まれる。

別表

教育学副専攻プログラム履修表

科目区分	授業科目	開設 単 位 数	学期別週授業時 数 (履修期)						要 修 得 単 位 数	開 設 学 部	備 考
			3 セ メ	4 セ メ	5 セ メ	6 セ メ	7 セ メ	8 セ メ			
専 門 基 礎 科 目	教育哲学	2		2					18	教 育 学 部	主専攻プログラムでは2セメ
	日本東洋教育史	2	2								主専攻プログラムでは1セメ
	西洋教育史	2		2							主専攻プログラムでは2セメ
	教育社会学	2		2							主専攻プログラムでは2セメ
	教育方法学	2		2							主専攻プログラムでは2セメ
	社会教育学	2	2								主専攻プログラムでは1セメ
	教育行政学	2	2								主専攻プログラムでは1セメ
	比較教育学	2		2							主専攻プログラムでは2セメ
	教育経営学	2		2							主専攻プログラムでは2セメ
	幼児教育学	2	2								主専攻プログラムでは1セメ
	高等教育概論	2		2							主専攻プログラムでは4セメ
合計									18		

〈履修上の注意〉

1. 専門基礎科目のうち18単位以上を履修すること。